

会 議 録

会 議 名	燕市健康づくり推進委員会		
事 務 局	健康福祉部健康づくり課		
開催日時	令和元年8月7日(水) 午後1時30分から午後3時00分		
開催場所	燕市役所 会議室301		
出席者	委 員	水澤委員、佐藤委員、外石委員、武藤委員、坪川委員、遠藤委員、田辺委員、松本委員、坂内委員、高畑委員、星野委員、阿部委員(欠席)、川瀬委員、田村委員、瀬戸委員、田中委員、本田委員、櫻井委員、岩田委員、細川委員	
	事務局等	健康福祉部：佐藤部長、本間副部長／健康づくり課：丸山課長、富所補佐、細貝副主幹、五十嵐副主幹、篠田副主幹、原副参事、坂井副参事、羽入田副参事、高野専門員、高宮専門員、吉川主任／保険年金課：平澤係長／長寿福祉課：熊谷課長／社会福祉課：赤塚課長／社会教育課：石田課長	
公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合はその理由			
次 第	<p>1 開 会 丸山課長</p> <p>2 あいさつ 田辺会長</p> <p>3 委員紹介 丸山課長</p> <p>4 議 題 (1) 平成30年度「第3次燕市健康増進計画」の進捗状況について (2) 平成30年度「第2次燕市食育推進計画」の進捗状況について (3) 平成30年度「燕市歯科保健計画」の進捗状況について (4) その他</p> <p>5 閉 会 佐藤部長</p>		

令和元年度第1回燕市健康づくり推進委員会 会議録要旨

日時：令和元年8月7日（水）

午後1時30分から3時00分

会場：燕市役所 3階 会議室 301

<p>1 開 会 健康づくり 課長</p>	<p>少し早いのですが、全員が揃いましたので、ただ今より、令和元年度第1回燕市健康づくり推進委員会を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆様方には、ご多忙のところ、また暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。本日会議全体の進行を務めさせていただきます、健康づくり課長の丸山と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の出席状況でございますが、阿部委員から欠席の連絡をいただいております。</p> <p>委員20名中、19名の出席と過半数を超えておりますので、燕市健康づくり推進委員会規程第6条の2により本委員会は成立いたします。</p> <p>それでは、次第の2、田辺会長より挨拶をお願いいたします。</p>
<p>2 あいさつ 会長</p>	<p>本日はお暑い中、またお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>今年の4月より、燕市スポーツ協会の会長を引き継がさせていただきました、田辺と申します。</p> <p>まずは、柴山前会長の残任期間ということで今回務めさせていただきます。</p> <p>本来であれば、この委員会の趣旨や経緯をご存知の方が務めるのが一番いいとは思いますが、皆様にご迷惑がかからないようにしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>3 委員紹介 健康づくり 課長</p>	<p>田辺会長ありがとうございました。</p> <p>それでは、田辺会長のほか4月1日より就任された3人の委員の皆様から簡単に自己紹介をお願いいたします。</p> <p>「新任の委員自己紹介」</p> <p>新任の委員の皆様ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第4の議題の進行につきましては、健康づくり推進委員会規程第6条に基づきまして、田辺会長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>4 議 題</p>	<p>(1) 「第3次燕市健康増進計画」の進捗状況について ≪事務局：「資料1-1」、「資料1-2」に基づき説明≫</p>
<p>事務局</p>	<p>●説明中「事前質問」への回答（1/6）</p> <p>⑥妊産婦・新生児訪問指導状況について、「訪問延べ回数を報告いただいておりますが、訪問実施対象者の実人数もできましたら教えてください。」ということでした。</p> <p>こちらにつきまして、口頭で申しあげさせていただきます。</p> <p>訪問実施対象者数の実人数は、妊婦30年度166人、29年度142人。産婦30年度470人、29年度485人。新生児など30年度485人、29</p>

	<p>年度 477 人となっております。</p> <p>●説明中「事前質問」への回答（2 / 6）</p> <p>③元気磨きたいの取り組みということで、「毎年度、参加者を募集されている中で、継続している方と新規の方との内訳を聞かせてください。」とのことでした。</p> <p>こちらにつきましても口頭で回答させていただきます。</p> <p>平成 30 年度につきましてメンバー数は 597 人です。うち、新規の方につきましては 69 人です。割合といたしましては、11.6%になります。継続の方が 528 人、割合は 88.4%です。平成 29 年度につきましては、メンバー数 592 人中新規の方は 83 人で 14.0%、継続の方は 509 人で 86.0%という形になっております。</p> <p>●説明中「事前質問」への回答（3 / 6）</p> <p>「各種がん検診の要精検該当者が受診勧奨後も受診に繋がらない人の要因や背景など、把握している範囲や推察で構いませんので教えてください。」について、こちらで把握している範囲で答えさせていただきますと思います。</p> <p>がん検診の結果、精密検査が必要になりますと、まずは結果通知で「精密検査が必要と判定されました」というお手紙と医療機関に持って行く紹介状みたいなものが入っている封筒をご本人のところに送りさせていただくのですが、それでも結果が戻ってこない方たちに、保健師が「その後いかがですか。」ということで連絡をさせていただいております。</p> <p>手段といたしましては、電話ですとか訪問などで受診勧奨させてもらっておりますが、行かないという理由としましては、「症状がないから」、「以前も引っかけたが、大丈夫だったので」というような自己判断で受診していない方ですとか。連絡をいたしますと、「これから行こうと思っていた」、という方ですとか、「行こうと思っているが、なかなか忙しくて」という回答が多く、少し危機感が薄く検診は受けてみたものの、精検は煩わしいというような思いが、やり取りの中からうかがえる状況もございます。</p> <p>ですが、中にはそのように私共が連絡を差し上げることによりまして、受診に繋がる方もいるため、受診勧奨を継続することは重要であると認識しておりますし、がん検診の会場の場におきましても、「精密検査該当になりましたら是非皆さま受診を」という説明と必要性を今後より一層強化して周知してまいりたいと考えております。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今の説明につきまして、ご質問やご意見がある方はお願いいたします。</p>
健康づくり課長	<p>事務局から 1 点補足をさせていただきます。資料 1 - 1 の 4 ページの「乳幼児健康診査」のところをご覧くださいませ。</p> <p>説明のアンダーラインのところ「平成 30 年度 4 月より、3 歳児健診において受診児全員に視覚屈折検査を実施」と書いてあるんですけども、細かいことなんですけれども、平成 30 年 4 月からの 1 年間は、新潟医療福祉大学さんと連携をして、モデル事業ということで研究に協力する形で実施となっております。</p>

	<p>正式には令和元年度4月から健康づくり課の保健事業として実施しておりますので、そこだけ追加させていただきます。 以上です。</p>
議長	はい、承知しました。ご質問やご意見がある方はどうぞ。
委員	資料1-1の5ページですけれども、下の方の②生活習慣病改善指導事業のところでトリプルスリーの「体重が減少した人が7人(50%)であった」というのは僅かでも減っている人をカウントしているのか、それともトリプルスリーの3kg減を達成されているという意味でしょうか、教えてください。
事務局	<p>はい、お答えさせていただきます。</p> <p>体重減少はわずかでも体重減少した方が7人ということで、3kgを達成された方は1、2名ほどという実績です。半分の方は、変化なしまたはわずかですが増えているという結果でしたが、生活環境は80%の方が改善されていると報告がありました。</p>
議長	<p>他にありますでしょうか。ないようですので、次の議題に移らせていただきますがよろしいでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、議題(2)平成30年度「第2次燕市食育推進計画」の進捗状況について説明お願いいたします。</p>
4議題	(2)平成30年度「第2次燕市食育推進計画」の進捗状況について 《事務局：「資料2-1」、「資料2-2」に基づき説明》
事務局	<p>●説明中「事前質問」への回答(4/6)</p> <p>活動指標の目標値は前年度実績を根拠として設定されていますが、意図は前年度より少しでもアップすることを目標としていると解釈してよろしいでしょうか。それまでの状況を踏まえて前年度よりも上を目指す目標値を設定されない理由がありましたら教えてくださいという質問です。</p> <p>活動目標の目標値は、多くが前年度実績を根拠として設定され、前年度より少しでもアップすることを目標としています。</p> <p>そのほかとしてはこちらのNo.4のシート、こちらについては出生数が年々減少していることから、前年の出生数をもとに目標値を設定しています。食育推進計画の基本目標達成に向けて活動指標や目標値の設定を行っていただけるよう、協議してまいります。</p> <p>●説明中「事前質問」への回答(5/6)</p> <p>喫食量の目標値に対し、成果及び今後の課題は100%に近づけたいとされていますが、そのための実施内容は何かお考えのことがありましたら教えてくださいという質問に、子育て支援課から回答をいただきました。</p> <p>残食を減らすことができるよう、給食後の感想・意見を参考に献立作成をしています。月1度の給食全体会議では、保育士含む園からあがった意見で献立検討を行っています。</p> <p>また、今年度は全料理のレシピ・調理方法について見直しを行い、調理のレベルアップを図っています。調査の時期・回数についても検討しています。</p> <p>以上です。</p>

議長	はい、ありがとうございました。 ただ今の説明につきまして、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。
委員	資料2-2最後にご説明いただいたところの、比較できた評価のできた3項目がありますが、「メタボリックシンドローム該当者・・・」から「朝食を抜くこと・・・」の項目の目標値が26.0%以下、13.0%以下、5.2%以下となっていますが、基本的には0が理想な訳ですよね。 目標を達成したら、5%であればいい、ということなのではないでしょうか。目標値をどういう基準で決めたのか教えていただきたいです。
事務局	今の件につきましては、第2次食育推進計画ということで、第1次計画の時の実績などを踏まえまして、第2次計画の目標値を作成しておりますので、第2次計画の目標値がそれによしということではなく、その目標値を達成した時点では、また次の第3次計画の時に目標値を修正していくとか、そういったことを考えております。
委員	単純に0でいいのではないかなと思うのですがね。 あくまでやってはいけないこと、なくしたいんですから0でいいのかなと。数字を敢えて上げて◎や○にしているのはどうかという部分もあったのですが、了解いたしました。
事務局	おっしゃるとおりでございますが、あまりにも達成にほど遠いような目標だけだとどうなのか、というところもございましたので。
委員	要するに、達成していく経過の中でモチベーションを上げるために、少しずつ進歩していることのための目標値なんですよ。 目標というよりも、あえてこの数字の根拠が分からないものから。
事務局	そうですね、以前に第1次食育推進計画のときも、例えば「朝食を毎日食べる人の割合」とかが、同じところで小中学生・保護者の指標の4番目のところ「1.健康寿命の延伸を目指して望ましい食習慣を実践する」の朝食を毎日食べる人の増加も目標値が、当初は達成可能な目標をいれていたことも計画を立てる時点ではあったのですが、やはり委員の皆様の意見ですとかいただいて、達成可能部分はそうなんですけれども、目指すべき姿を入れるべきなのではないかという意見も頂いてそちらの方は100%にしている部分もあるんですが、目標の立て方というのが、最終的に目指す姿なのか、計画ということである程度まずは達成できそうな目標値にするのかというところが、議論もあったところでもありますので、先生のご意見も参考にさせていただきたいと思います。
委員	達成したいノルマというような印象の感じでいいわけですよ。目標はあくまでも0ですよ。とりあえずのノルマとして、これまではやりたいということ。 もう一点ですけれども、子供さんの場合多くは給食でお昼、食を取っているわけですが、給食に関してこういうデータとか取組みたいなのは、データ的には、例えば給食を残しているだとか、そういうのは市として把握できないんじゃないかな。

	<p>3食のうち1食を子どもさんたちは、ほぼ毎日学校で食を取っているわけですから、そこがもし確認できたらいいかなと。</p>
事務局	<p>はい、とっていると思います。 保育園の方の喫食量というのがそれになるのですが、学校の方もあ ると思うので、今後報告ができるようにしていきたいと思います。</p>
議長	<p>はい、よろしいでしょうか。 他にありますでしょうか。 ないようですので、次の議題の(3)平成30年度燕市歯科保健計画の 進捗状況について、説明をお願いいたします。</p>
4 議 題	<p>(3)「平成30年度燕市歯科保健計画」の進捗状況について ≪事務局：「資料3-1」、「資料3-2」に基づき説明≫</p>
事務局	<p>●説明中「事前質問」への回答(6/6) 「指標の目標値を大幅にクリアしている指標について、目標値を計 画期間途中で修正することは検討可能でしょうか。(このままの目標 値では現実的ではないように見え、より推進する姿勢が目標値にも表 せると良いのではないかと思うため)」というご質問をいただきました。 目標値をクリアしている背景として、歯科医師会のご協力や、各関 係機関との連携の成果であると考えています。 特に幼児期では、先ほども説明させていただいたように、1歳から の歯科健診、フッ化物歯面塗布から始まり、中学を卒業するまで希望 者にはフッ化物洗口を実施できる環境があることが主な要因である と考えられます。 しかし、成人期以降は目標値を達成できていない項目もあります。 目標値の修正につきましては、年1回開催されます燕市歯科保健実務 担当者会議において、委員の皆さまにご意見をお聞きしながら検討し ていきたいと考えております。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました。 ただ今の説明につきまして、質問やご意見のある方はお願いいたし ます。</p>
委員	<p>それでは、先ほどの小学校児の歯肉炎有病者率が、達成してないとい うことですがけれども、小学生は1年生から6年生までいますので、 なかなかむし歯ではないので、歯肉炎ということになりますと、意識 としてそれほど重要には思っていないのかなという気がします。 また中学生になると、ある程度目標に達しているわけですから、中 学校以下から取り組んでいくというのは必要になりますけれども、そ んなに心配する必要はないのではないのかなと思いますし、今ほとん どかかりつけの歯医者さんがありますので、そこでいろいろ指導なり してはいますけれども、実施していないだけで、ある程度経過を見な がら、というようにしていると思います。 あくまでもこれは数値だけであって、実際はそこまで深刻ではない のかなという感じもします それと、働き盛りなどのある程度の年齢の方でも、歯科医院を受診 されている方が多いので、回収率云々などありましたけれども、関心 のない方もいらっしゃると思いますが、ある程度リコールに応じられる方が</p>

	<p>多いので、そういう意味では資料内容に関しましては、今までの状態でしていただければいいと思います。</p> <p>以上です。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他に、いかがでしょうか。</p> <p>あとなければ私が1つ伺いしてよろしいでしょうか。</p> <p>燕市において、年中児以上のフッ化物洗口が開始されたのは平成19年からでしたけれども。私の認識では、新潟県では弥彦村が早く取り上げて、むし歯率というのですか、それが少ないと聞いておりますが、今現在の燕市のむし歯のある子ども割合というか、それと県内での状況を分かる範囲でお聞かせいただけますでしょうか。</p>
委員	<p>細かい資料ですと分かりませんが、新潟県は12歳児のむし歯率が全国で最少ということで、それに比例して燕市もそれぐらい低いです。健診とかに行っても、ほとんどむし歯の子はいらっしゃらないですね。</p> <p>ただ小学校に上がった段階で、またいろいろと状況、食べ物とか家庭環境とかいろいろあつたりするので多少は前後しますけれども。乳幼児とか少なくとも3歳児等で健診をさせていただいているにあたっては、首をひねるような感じの子は少ないですね。</p> <p>ですから、むし歯に関しては非常に県の数値にほぼ比例しているのかなと思います。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>皆さんいかがでしょうか。</p>
委員	<p>5ページの育ちざかりの「児童・生徒6～18歳」の①12歳児一人平均むし歯数が0.28本なのに、たった3年間しか変わらない中学生になると、なんでこんなに多くなるのでしょうか。中学生だとぐっとむし歯が上がっていますよね。</p>
事務局	<p>5ページ①12歳児一人平均むし歯数と③は歯肉炎についてですね。むし歯と歯肉炎なので、少し指標が違っております。</p>
委員	<p>小学生の場合は歯肉炎ってあまり分からないということですか。</p> <p>それにしても②の小学校児の歯肉炎の方で、30年度で9.4%、それが中学生になると15.3%になるわけですよね。ぐっと上がるというか。</p>
委員	<p>今の解釈は逆で、目標値は小学生が達成されてなくて、中学生は達成されている訳です。ですので、おっしゃられたことと逆なんですね。</p>
委員	<p>小学生の方が7%以下。中学生は20%以下。目標値はそうですけど、30年度のものを見ると、9.4%になっていますよね。30年度は目標値ではなく、もう実施された実際の数字ではないのでしょうか。</p>
議長	<p>これ、実数ではないのですか。</p>
委員	<p>実数ではないですか。30年度の場合は目標値なのでしょうか。</p>
委員	<p>今、子どもが中学生で子育てしているのですが、経験から考えますと、小学校の時は、給食を食べた後も先生方が、一生懸命歯磨きしましょうということ、子ども達も歯ブラシを持って行っていたんです</p>

	<p>が、中学生になると歯ブラシを持っていくことについて、女子はお口のおいおいを気にして、持っていき子もいますし、全然、お兄ちゃんとかは、歯ブラシすら持って行かなかったように感じます。</p> <p>小学生の時だと、親も結構口うるさく、歯磨きをしなさいというんですけれど、年頃になると、あんまり言わなくなるのですが、そういったことも少し影響しているのではないかと、私の考えなんですけど思っています。</p>
事務局	<p>中学生のむし歯の数については、資料3-2で「12歳児の一人平均むし歯数」といことで育ちざかりのところに、小学生にはなってしまうのですが、指標の方は3歳児・5歳児・12歳児しか公表されておられませんので、こちらで見ていただくと3歳児一人平均むし歯数は平成30年度は0.26本、5歳児は1.15本、12歳児は0.18本ということで、5歳児になると少し増えますが、治療される方もいらっしゃいますのでむし歯の本数は減少する傾向となっております。</p> <p>先ほど言われました歯肉炎の方は、委員からもお話が合ったように) 小学校では養護教諭の先生方にお聞きすると、「保健便り」とか「歯磨きタイム」とか、あと低学年だと親の仕上げ磨きというものを先生の方から勧められていますので、歯肉炎の方は低い傾向になるのですが、そのあと子どもの発達に伴って一人で歯磨きをするようになると、やはり丁寧に行われていなかったりとか、歯磨きの回数が減ったりということで、それがもしかしたら原因で歯肉炎の方が高くなる傾向になっているかと思われます。</p> <p>説明は以上です。</p>
議長	<p>よろしいですか。</p> <p>ほかにございますでしょうか。</p> <p>それでは次の議題(4)でございます、どうぞ。</p>
4 議 題	(4) その他
事務局	<p>《事務局（高宮専門員）：マイストーリー事業実施計画について》</p> <p>《事務局（細貝副主幹）：自殺対策計画、早寝早起きリーフレットについて》</p> <p>《事務局：当日配布資料に基づき説明》</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>事務局の方で他にありますか。委員の皆さまから何かありましたらお願いします。</p> <p>ないようですので、私の方での議事進行を終了させていただきます。</p>
議長	<p>田辺会長、進行の方ありがとうございました。</p> <p>最後に次第の5閉会のあいさつを佐藤健康福祉部長より申し上げます。</p>
健康づくり課長	<p>田辺会長、進行の方ありがとうございました。最後に次第の5閉会のあいさつを佐藤健康福祉部長より申し上げます。</p>
健康福祉部長	<p>皆様、本日はお忙しい中、長時間にわたりましてご協力いただきまして、大変ありがとうございました。</p>

	<p>本日は資料もたくさんございましたけれども、私共が取り組んでおります、健康づくり事業は妊娠から介護予防までということで、非常に幅広くすべてのライフステージに関わっているということ、それから食育、さらに歯科保健、自殺という本当に広い分野で取り組みをさせていただいているところでございます。</p> <p>その中で、やはり要は、すべての年齢の方が自分らしい健康づくりに取り組んでいただくために、いかに主体的に取り組んでいただくかを視野に入れ支援するか、保健指導をしていくかというのが、私共に課せられている責務かなと感じているところでございます。</p> <p>また、引き続き皆様から本日頂きましたご意見を参考にさせていただきまして、資料につきましてもやはり広い分野でございますので、もう少し関わりの部分の説明も必要なかなと感じておりますので、その辺も検討しながら次回2月には、また引き続き皆様からご協力いただけるようにと思っております。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
健康づくり課長	<p>今、部長の話の中にもございましたけれども、次回は2月5日(水)の午後の開催を予定しておりますので、また詳細につきましては、確定いたしましたらご案内させていただきますので、予定を入れておいていただければと思います。</p> <p>本日は長時間にわたりまして、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p>